

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	IgA 腎症における腎病理形態と腎予後との関連	
1. 研究の目的と方法	IgA 腎症は最も頻度の高い原発性糸球体疾患ですが、根治的治療法はまだありません。診断には腎生検が必要であり、現在はそこから得られる組織学的指標をもとに診療を行っておりますが、糸球体病変の進展様式は個々の患者間で異なり、これらの形態学的差異が腎臓の予後に影響を与えることが報告されています。そのため、従来の組織学的評価とは異なり、形態学的評価を行うことで、IgA 腎症の腎予後を多面的に予測することができる可能性が期待されます。今回、該当期間内に腎生検にて診断された IgA 腎症患者を対象にカルテ情報の収集と既存情報を活用し、評価・解析を行い、病理形態学的所見の多寡と、腎機能障害との関連を調査することを目的としています。	
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2031年3月31日まで、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	2007年1月1日～2025年6月30日までに東京慈恵会医科大学附属病院 腎臓・高血圧内科で腎生検にて IgA 腎症と診断された方	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料を使用しないため該当しません。
	(2) 試料の取得の方法	試料を使用しないため該当しません。
	(3) 情報の種類	年齢、性別、生年月、主な併存疾患（糖尿病、高血圧症、肥満症、蛋白尿） 身長、体重、随時血圧値、血液検査（血清アルブミン、血清クレアチニン、eGFR、クレアチニンクリアランス、血清尿酸値、総コレステロール値など）、尿検査（尿蛋白試験紙法結果、尿蛋白定量検査、尿沈渣所見など） CT 画像（実施日、腎実質体積などの形態パラメータ） 腎生検病理所見（採取糸球体数、糸球体容積指標（糸球体面積、糸球体面積変動係数、糸球体容積）、非硬化糸球体数、オックスフォード分類、厚労省 IgA 診療指針第 3 版 H-grade、免疫染色所見、電子顕微鏡所見など
	(4) 情報の取得の方法	通常の業務（検査・診療など）において取得された診療情報を用います。
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。	
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名 東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科講座 氏名 坪井 伸夫
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	佐々木 峻也

	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2026年3月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科学講座 研究責任者：坪井 伸夫（つぼい のぶお） 電話番号：03-3433-1111（内線 3232） 対応時間：平日 09：00 ～ 17：30	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。